

〈バロックザールゆかりのアーティスト〉

高木和弘×ヴィッレ・ヒルトウラ con salon de sasanoha クラシックmeetsタンゴ

A
AOYAMA
MUSIC FOUNDATION
KYOTO, SINCE 1990

©Motoki Uemura

胸に迫る郷愁と情熱のタンゴ

白熱するバンドネオンとカルテットの応酬

Kazuhiro Takagi, feat. Ville Hiltula con salon de sasanoha CLASSIC MEETS TANGO



©八木 毅

高木和弘、ヤンネ館野 (Vn)
田中佑子 (Va)、中島紗理 (Vc)
ヴィッレ・ヒルトウラ (Bandoneon)



©八木 毅

Program

アントニン・ドヴォルザーク:5つのバガテル op.47(バンドネオン版)

Antonín Dvořák: Bagatelles op. 47

アルベルト・ヒナステラ:弦楽四重奏曲第1番

Alberto Ginastera: String Quartet No. 1

アストル・ピアソラ:四人でタンゴ

Astor Piazzolla: Four for Tango

フアン・ホセ・モサリーニ:アレー・エ・ルトゥール第1番(バンドネオンとヴァイオリン)

Juan José Mosalini: Aller et Retour I

グスターヴォ・ベイテルマン:クラシコ・イ・モデルノ

Gustavo Beytelmann: Clasico y Moderno

アストル・ピアソラ:ブルーノ・エ・サラ(バンドネオンとヴァイオリン)

Astor Piazzolla: Bruno et Sarah

ベイテルマン:レトラート第3番

Gustavo Beytelmann: Retrato No.3

ベイテルマン:トリステ

Gustavo Beytelmann: Triste

ピアソラ:ヴィアーヘ・デ・ボダス(バンドネオンとヴァイオリン)

Astor Piazzolla: Viaje de Bodas

ベイテルマン:オフレンダ

Gustavo Beytelmann: Ofrenda

ピアソラ:アディオス・ノニーノ

Astor Piazzolla: Adios Nonino

クラシックとタンゴの必然の出会い
ドヴォルザークの佳品、そしてクラシックにラテンの魅力を織り込んだ
20世紀タンゴの巨匠等による傑作選。

2022年

5月28日(土)

14:00開演(13:15開場)

青山音楽記念館
バロックザール

入場料 5,000円(全指定席・税込)

※当日券が販売される場合のみ、学生証の提示で
1,500円で入場できます(お一人様1枚のみ)。

2月26日(土)10:00より、バロックザール・
オンラインチケットと窓口にて

販売開始

<https://barocksaal.com/>

オンライン購入には会員登録が必要で
す。お支払いはクレジットカード決済、コンビニ支払い、
ホール窓口支払いをお選びいただけます。
セブンイレブンでチケットをお受け取りいただけます
(手数料無料)。



お問い合わせ

青山音楽記念館 バロックザール

Tel. 075-393-0011

受付=9:30~18:00(月・火/休館)

主催・公益財団法人 青山音楽財団

※新型コロナウイルス感染予防対策にご協力ください。

バロックザールのWEBサイトをご確認の上、ご来場ください。

■館内では常時マスクの着用をお願い致します。

■平熱よりも高い発熱や感染が疑われる体調不良により、当日のご来場をお控え頂く場合には、
後日払い戻しを行います。

※やむを得ない事情により、内容等が変更になる場合がございます。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までと
させていただきます。
※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等は
致しかねます。予めご了承ください。
※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。
※当公演のチケットは「特定興行入場券」です(販売の際、
お客様を特定しております)。定価を超える金額で転売されると
法律違反となり、処罰されます。

クラシックとタンゴ、必然の出会いとその魅力。

高木和弘(1997年青山賞受賞)が、20年以上の共演歴を誇る世界的バンドネオン奏者／フィンランド出身の盟友ヴィッレ・ヒルトウラを迎えます。共演は高木和弘が主宰する逸材揃いのアンサンブル=salon de sasanoha。人それぞれが持つ郷愁へと誘うドヴォルザークの佳品と没後30年のピアノの名曲、そして20世紀南米の巨匠が西洋音楽のフォーマットにラテンの魅力を盛り込んだ無二の境地。異なるジャンルの融合と昇華、それぞれの“作品の高み”へと昇り詰める圧巻の演奏。お見逃しなく。



©八木 毅

■高木和弘(ヴァイオリン) Kazuhiro Takagi, Violin

6歳よりヴァイオリンを始め、国内外で数々のコンクールに優勝及び入賞を果たす。主な賞歴としては1997年度ブリュッセルで行われたエリザベート王妃国際コンクール入賞、1998年ジュネーヴ国際コンクール第3位(1位なし)などが挙げられる。国内では、1997年度青山音楽賞、2005年度文化庁芸術祭新人賞、大阪文化祭賞大賞受賞、2007年度第19回ミュージック・ペンクラブ音楽賞オーディオ部門録音作品賞を受賞と、その芸術家としての認知と評価も非常に高い。国内外のオーケストラとのソリストとしてもこれまで大阪フィルハーモニー、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー、日本センチュリー交響楽団、東京交響楽団、ベトナム国立響、ヴェルテンベルグ・フィルハーモニーなどの共演も多数ある。近年、日本で最高権威を誇る日本音楽コンクールの審査員としても度々招かれている。また近年、サミット・ミュージック・フェスティバル(ニューヨーク、アメリカ)など国内外の講習会などにおいても講師として招かれるなど、後進の指導にもあたっている。これまでに和波孝禧、森悠子、エドワード・ウルフソン、エドワード・シュミダーの各氏に師事。現在、神戸市室内管弦楽団コンサートマスター、長岡京室内アンサンブルメンバー、グラス室内交響楽団コンサートマスター(グラス、アメリカ)、いづみシンフォニエッタ大阪メンバー、A Hundred Birdsのバイオリニストとしても演奏活動を展開中。使用楽器は株式会社シーエヌコーポレーションエフクより貸与された1739年製サント・セラフィンである。



©Motoki Uemura

■ヴィッレ・ヒルトウラ(バンドネオン) Ville Hiltula, Bandoneon

フィンランド出身のバンドネオン奏者でありタンゴ演奏家。長年にわたり、ヨーロッパ各国を始め、アルゼンチン、アメリカ、日本、韓国、ロシアなど世界中で演奏活動を行い、広範囲かつ国際的なキャリアを築いてきた。これまでに Ville Hiltula Tango Cuarteto や Tangueros Articos などといったタンゴ楽団を立ち上げたほか、世界的に知られたタンゴ楽団、Carel Kraayenhof y su Sexteto Cenyengue の一員として、2005年から2015年までの10年間演奏活動を行なった。ソリストとして、ベルギー、アイルランド、ドイツで公演された Astor Piazzolla's tango opera Maria de Buenos Aires に参加した。また、ハーグ・フィルハーモニー管弦楽団やオランダ放送フィルハーモニー管弦楽団、アムステルダム・シンフォニエッタ、ラテンペスタ室内管弦楽団、Kristjan Järvi & his Absolute Ensemble にも参加している。これまでに、オランダではアムステルダムのコンサートヘボウヤムジークヘボウやロッテルダムのデ・ドーレン、モスクワのハウス・オブ・ミュージック、ソフィアにあるブルガリア・ホール、ロンドンのパービカンセンターなど、世界中の有名なコンサート会場で演奏している。テレビ番組での演奏経験もあるほか、オランダのロイヤルファミリーやドライ・ラマに演奏する榮譽にあずかったことがある。神戸在住。現在、日本を拠点に活動中。www.villehiltula.com



©八木 毅

■ヤンネ館野(ヴァイオリン) Janne Tateno, Violin

フィンランド・ヘルシンキ生まれ。ヘルシンキ音楽院にてシルッカ・クーラ、オルガ・パルホメンコ、シカゴ芸術音楽学院にて森悠子の各氏に師事。室内楽をイェルツィ・ゲベルト、バロック音楽をデビッド・シュレーダー両氏より学ぶ。ソリストとして大阪チェンバーオーケストラ、東京エラート室内管弦楽団、山形交響楽団と共演。11年東京文化会館にてデビューリサイタルを行う。15年ヘルシンキにてW.ケンプのヴァイオリンコンチェルトを演奏。シベリウスコンチェルトを20年山形交響楽団と共演。現在横浜に在住し、日本各地にて室内楽、オーケストラ奏者、ソリストとして活動。ヘルシンキを拠点とするラ・テンペスタ室内管弦楽団のコンサートマスター、音楽監督を務める他、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者、森悠子主宰長岡京室内アンサンブルのメンバーとして活躍。またバロックヴァイオリン演奏、アルゼンチンタンゴ演奏などフィンランドと日本2つの祖国において幅広い活動を展開。17年アンサンブルMIDORIを結成自主企画室内楽コンサートシリーズを開始。18年『Janne Plays Sibelius』(レコード芸術準特選)、21年『Monologo via Corda〜独絃哀歌〜』リリース。ホームページ:jannetateno.com



©八木 毅

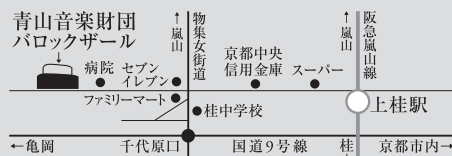
■田中佑子(ヴァイオラ) Yuko Tanaka, Viola

四天王寺高校卒業。相愛大学音楽学部弦楽器専攻卒業、同大学音楽専攻科修了。在学中、斎藤秀雄奨学金を授与される。全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部第2位、和歌山音楽コンクール大学・一般の部第1位等、受賞。京都青山音楽記念館バロックザールにて2009年ソロリサイタル、2012年デュオリサイタルを開催。2020年大阪と東京で無伴奏ヴァイオリンリサイタルを開催。ポーランド、フランス、ニューヨーク、アルバなどの講習会、演奏会に多数参加。クシユトフ・ヤコヴィッチ、ジェラルド・プーレ、アレクサンドロ・モッチア、安紀・ソリエール、ジェローム・アコカ、ラファエル・ペル、ミハエル・コッペルマン、ヴィクトール・ピカイゼン、エドワード・シュミダー、シモン・ゴヨー、ランドルフ・ケリー各氏のレッスンを受講。これまでに、高瀬乙慈、曾我部千恵子、小栗まち絵、岸邊百百雄、森悠子、佐藤一紀、高木和弘の各氏に師事。相愛大学音楽学部演奏助手。長岡京室内アンサンブルメンバー。ヴァイオリニストとして活動する傍ら、室内楽ではヴァイオラ奏者としても研鑽を始める。



■中島紗理(チェロ) Sari Nakajima, Cello

相愛大学音楽学部弦楽器専攻卒業。同大学音楽専攻科修了。修了演奏会に出演。在学中、斎藤秀雄奨学金を授与される。国内外の講習会に多数参加。また室内楽では、長岡京室内アンサンブル結成15周年記念公演、長岡京室内アンサンブル定期演奏会に出演。これまでに、斎藤建寛、山本彩子、佐藤禎の各氏に師事。また室内楽を森悠子氏に師事。現在、関西を中心にフリー演奏者としてソロ、室内楽、オーケストラと幅広く活動中。



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

バロックザール
Barocksaal
京都青山音楽記念館

お問い合わせ: tel. 075-393-0011 9:30~18:00 月・火 休館
〒615-8282 京都市西京区松尾大町9-1 <https://barocksaal.com/>

私たちは、音楽活動の普及と発展のための支援事業と音楽ホールの運営を行っています。

公益財団法人青山音楽財団

〈事業内容〉●主催公演事業 ●新人助成公演事業・助成公演事業

●青山音楽賞[新人賞・青山賞・バロックザール賞]

●育成支援事業[学校等支援事業・奨学金事業] ●青山音楽記念館バロックザール 運営

www.aoyama-music-foundation.or.jp